

平成24年度事業報告書

I. 事業の状況

1. 会議に関する事項

(1) 定期総会

- ・ 平成24年 6月10日(日) 徳島県徳島市 あわぎんホールにおいて開催
- ・ 平成25年 2月10日(日) 東京都台東区 台東区民会館において開催

(2) 定例理事会

- ・ 平成24年 6月 9日(土) 徳島県徳島市 阿波観光ホテルにおいて開催
- ・ 平成24年12月11日(火) 大阪市北区 ホテルコムズ大阪において開催
- ・ 平成25年 2月10日(日) 東京都台東区 台東区民会館において開催

(3) 東西常任幹事会

- ・ 平成24年 6月10日(日) 徳島県徳島市 あわぎんホールにおいて開催
- ・ 平成24年12月11日(火) 大阪市北区 ホテルコムズ大阪において開催
- ・ 平成25年 2月10日(日) 東京都台東区 台東区民会館において開催

(4) 月例常任幹事会

- ・ 大阪事務所 7回開催
- ・ 東京事務所 8回開催

2. 事業に関する事項

(1) 第36回全日本川柳2012年徳島大会の開催

イ. 日 時 成24年 6月10日(日)

ロ. 場 所 徳島県徳島市藍場町2-14・あわぎんホール

ハ. 参加者 事前投句者(一般) 1,855名

事前投句者(シニア) 5,292名

当日参加者(一般) 517名

ニ. 大会選者 近江あきら・小椋忠雄・大野風太郎・長江時子

渡辺梢・新家完司・植野美津江・堀江加代・赤松ますみ・西恵美子

久保田半蔵門・赤井花城・岡崎守・堀井勉・天根夢草

ホ. 一般の部 受賞句(各題秀句3句 計21句の中より選考)

文部科学大臣賞

夕陽背に答の出ない巡礼者 岡山 藏内 明子

参議院議長賞

良心を写すカメラになる両目 茨城 船橋 豊

川柳大賞

栄転の辞令は鼓笛隊と来る 東京 西潟賢一郎

大会賞

わたしはバラ今の美貌に飽き足らぬ 愛媛 山内 郁代

人間が人間を呼ぶ燃えている 佐賀 西村 正紘

巡礼の轍平和の幾曲がり 秋田 加藤 円心

雲燃えて山の向うはなんだろう 島根 石橋 芳山

善人の仮面で踊る風見鶏 栃木 生田目昭夫

家系図に踊り上手とルビを振る 宮城 菅野 實

あの日からみんな大人になった海 三重 大嶋都嗣子

病気だと認識できぬ母に鈴 東京 上原 稔

一目惚れ光の束が火をつける 東京 深川きんぎょ

若者の歩き遍路に見る決意 香川 村尾美代子

出産の神秘カメラも息を呑む 徳島 福本 清美

へ. ジュニアの部 受賞句 (各題秀句9句 計9句の中より選考)

徳島県知事賞

笑顔はね幸せを呼ぶま法だよ 広島 佐方小5 瀧 愛里奈

徳島市長賞

心もねお母さんからもらったよ 高知 高岡第一小3 小松 愛花

徳島県教育長賞

耐えているきみの横顔もう大人 広島 吉和中2 斎藤 静

全日本川柳協会会長賞

桜さく一つ大人になれること 福島 小手小5 矢筈 彩夏

起きなさい幸せタイムもう終わり 広島 中町小4 伊東 叶音

名前とは初めてもらうプレゼント 広島 玖波小6 吉野 亜美

教育新聞社賞

人間として認めてくれる大人の目 広島 吉和中3 金黒 美沙

お母さん売り場の声にすいこまれ 岩手 寺田小5 山本 雄太

マラソンで止まりたい気をだまらせる 愛媛 小野小4 渡部紗也香

(2) 第27回国民文化祭・とくしま2012を主催

事前投句者 高校生・一般の部 2,356名

小・中学生の部 5,103名

当日参加者 455名

(3) 全日本柳人写真名鑑 平成二十五年版

参加者 763名

(4) NHK学園その他、全国柳社より申請を受けた大会の後援をした。

(5) 「教科書に川柳を」の運動については前年度に引き続き積極的にこれを推進した。

(6) 第5回川柳文学賞「埋み火」荻原鹿声著を表彰